



## 「支援の視点」で安心を 「災害の視点」で備えを

### 安心の備えと日常の支援

この計画は、万が一の備えであると同時に、「普段の暮らしの安心」を支える仕組みにもつながります。今後も関係機関と連携しながら、未成熟の方にも小さな一歩から取り組んでいただけるよう、粘り強く丁寧に努めてまいります。

行政だけでは、日々の暮らしの中での困り事や支援の優先度を十分に把握できないため、ご本人やご家族、支援者と協力しながら、一人一人に合った具体的な計画づくりを進めています。その際には、日常的に使用している医療機器や薬の種類、移動に必要な手段、支援に関わる人の役割分担など、できるだけ細やかに整理し記録していきます。

録されている方の中でも、医療的ケアが必要な方については、計画が未作成のケースが多く、災害時の備えが整っていないのが現状です。医療的ケアが必要な方は、停電や移動、避難先でのケアなど、災害時に特有の課題を多く抱えています。災害が起きてからでは間に合わない場面が多く、平時からの準備が欠かせません。

現在、避難行動要支援者として登録されている方の中でも、医療的ケアが必要な方が、計画が未作成のケースが多く、災害時の備えが整っていないのが現状です。医療的ケアが必要な方は、停電や移動、避難先でのケアなど、災害時に特有の課題を多く抱えています。災害が起きてからでは間に合わない場面が多く、平時からの準備が欠かせません。

「医療的ケア」とは、自宅や学校など医療機関以外の場所で、家族などが日常的に行う医療的な行為のことです。代表的な医療的ケアを紹介します。

#### 人工呼吸器

自分で呼吸をするのが難しい場合に使用される。24時間必要な子どもや寝るときだけ必要な子どもなど、人によって使い方が異なる。



#### 気管切開

気管に穴を開けて、鼻や口とは別の空気の通り道を作ること。



#### 吸引

鼻や口、気管切開の穴から吸引カテーテルを入れて、鼻水や唾液、たんを吸い取ること。

#### 酸素吸入療法

鼻や口、気管切開などにチューブやマスクを付けて、足りない酸素を補うこと。

#### 経鼻経管栄養

鼻から胃や腸までチューブを通して、直接栄養剤や水分を送ること。



#### 胃ろう

おなかの表面から胃まで開けられた、小さな穴のことをいい、胃に直接食べ物や栄養剤、水分を送る。



#### インスリン療法

糖尿病の治療のため、血糖を下げるホルモンであるインスリンを投与し、高血糖をコントロールすること。



#### 導尿

ぼうこうにカテーテルを入れて、たまつた尿を体外に排出すること。